



『スパークス 日本株長期投資のすすめ』

スパークスの株式投資、株式市場などに対する見方を紹介するコラムです。

第73号(2010年6月11日)

「銘柄選定の基準」

ファンドの運用成績を評価する際、弊社が重視しているのは単年度リターンではなく、長期リターンです。具体的には、最低3~5年間の累積リターンをもって成績が評価されるべきであると考えます。弊社では日々の株式市場の動向に捉われることなく、あくまで個別企業について徹底したボトムアップ・リサーチ基いてファンドの運用を行っており、特に長期投資に耐えうる銘柄を選定する際に、下記の点を重視します。

- ・本質的に安全なビジネスである
- ・強固なバランスシートを持つ
- ・事業において独自のブランド力、技術力などの高い参入障壁を持つ
- ・長期にわたり市場平均を上回る利益成長と高い株主資本利益率を実現できる
- ・長期にわたりフリーキャッシュフローを創出できる
- ・有能な経営者によって経営されている

そして企業の持つバランスシートやビジネスが将来生み出す長期的なキャッシュフローの価値を分析することで、企業の実態価値(本質的価値)を算定し、それよりも株式市場でつけられている時価総額が割安なものに対してのみ集中して投資を行い、長期保有するというスタイルをとっています。短期的な株価の値動きや企業の短期業績のみで投資判断を行う傾向のある一般的な市場参加者とは異なった投資時間軸およびビジネスを分析する視点を持つことで、市場平均と異なるリターンを達成できるものと思われま

す。今後は、TOPIX(配当込)との比較に留まらず、絶対リターンにおいても更なるプラスの成績を達成していけるよう努力してまいります。

今後の運用方針として、現在のポートフォリオは弊社の銘柄選択基準に合致した、1)成長性があり、2)質の高い魅力的な企業群、により構成されていると考えております。また大半の保有銘柄については、その潜在成長力が株価に十分反映されておらず、引き続き中長期的に市場平均を上回る株価推移が期待できることから、継続保有を続けていく方針です。

ただし、以下の事由が発生した場合には、銘柄入れ替えを積極的に行う方針です。

- ・既存保有銘柄が実態価値を大幅に上回って値上がりした場合
- ・既存保有銘柄のビジネスが構造的な、もしくは致命的な価値毀損に見舞われた場合
- ・リスク・リターンの観点からより魅力的な新規銘柄を発掘した場合



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

『スパークス 日本株長期投資のすすめ』



スパークスの株式投資、株式市場などに対する見方を紹介するコラムです。

第73号(2010年6月11日)

日本は少子高齢化・内需縮小という難しい問題をかかえており、国内株式を取り巻く環境は大変厳しいですが、この国には世界へはばたける有能な企業がたくさんあります。新興国を中心に世界経済成長の恩恵を今後受けることが期待できる企業が割安に放置されており、今は非常に大きなチャンスだと考えております。

(注) 本コラムは、マネックス証券Web-Site「マネックスラウンジ」の「マネックスメール」に掲載されている「スパークス・アセット・マネジメントの『SPARX Way』」をもとにスパークスが作成したものであります。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。